



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 1月号
令和6年1月9日発行
発行責任者：酒川敬史

能登半島地震

校長 酒川 敬史

例年であれば新年の祝賀を述べるべきところですが、1月1日の能登半島地震の発生を踏まえ、控えさせていただくことにいたします。本年もよろしく願いいたします。そして本1月号では、あえてこの震災に触れようと思います。

地震発生当時、私は帰省先の浜松市から東京に向け、家族を乗せた車を走らせているところでした。車中では音楽が流れていましたが、突然NHKの緊急放送に音声切り替わり、女性アナウンサーが必死に避難を呼びかける声が響き渡りました。まさか元日に？日本海側で大地震？と耳を疑いました。そして思い出したのは東日本大震災でした。東日本大震災発災当時、私は6年の担任をしていました。4階の教室にいた私は、経験したこともない大きな揺れに、子供たちを守る立場ながら生命の危機を意識したのを覚えています。あの時の揺れが震度5弱。車を走らせながら、東日本大震災を思い出しながら、次に聞いたのは震度7を観測したという速報、続いて大津波警報の発令でした。やるせない気持ちになりました。東日本大震災やその後に発生した各地の震災の影響や爪痕が未だなくならない中またしても同様の苦しみや悲しみを味わう人々がいるのか、と被災当事者ではないのに途方に暮れてしまいました。

連日の報道により少しずつ被害の状況が分かっています。この震災で命を落とした方、大事な家族を失った方、未だ家族の行方が分からない方、長年住んできた家屋を失った方、命からがら逃げきった末に厳しい避難生活を余儀なくされている方々。悲しみ、憤り、くやしきなどその方々の気持ちは私には到底想像が及びません。

そして被害の状況が明らかになるにつれ、改めて、私たちには何ができるのかということを考えさせられました。私たちは被災者ではありませんし、能登半島からは遠く離れた地域で暮らしており、地震の影響を直接受けることはありません。現在停電や断水もなく、寒さをしのげる環境で不自由のない生活を送っています。テレビは早くも通常放送に切り替わり、目を背けようとすれば東の間忘れることもできるでしょう。災害救助等のプロでもないため被災地に足を運んで直接何らかの救助や支援、復旧を行うこともできません。義援金等の支援も今後ということになるでしょう。では、私たちには何ができるのか。とても無力であることを痛感するばかりですが、まずは関心をもって被災地の状況を注視することだと考えました。被災地の情報に触れれば辛い思いも積み重なります。ですが刻々と変化する被災地の状況を見つめ、どんな苦しい状況に置かれている人がいて、被災者の方々が何に困っていて、その方々を救うため支援するために日夜どんな活動をしている人がいるのか。それらを知り、思いを馳せ、何らかを学ぶことだと思いました。

本稿を書いている現在は1月5日です。始業式では、子供たちにも同じ話をしようと思います。子供たちは東日本大震災を知らない世代です。だからこそ、今まさに起こっているこの震災からできる限り目を離さずにいようと伝えたいと思います。被災した方々の悲しみに共感する子どもがいてもよい、自分に何ができるかを考える子がいてもよい、救助・復旧に当たる方々の姿に何かを感じる子がいてもよい、ともに助け合って困難を乗り越えようとする被災者の姿を心の中で応援する子がいてもよい。何かを感じ、それぞれが「生き方」を考える機会としてほしいと願っています。

まだまだ被害の全容は明らかになっていません。私自身注視し続けていこうと思います。

本震災で命を落とされた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

～3年生より～

2学期は、運動会や音楽会の他にもスーパーマーケット見学、消防署見学、地域安全マップ作りのフィールドワークなど体験的な活動をたくさん行いました。子供たちが協力しながら課題解決を図る姿に成長を感じました。たくさんのご協力ありがとうございました。

今年から書写では毛筆の学習が始まりました。はじめは、力加減が分からず太く書きすぎたり、緊張してなかなか筆が進まなかったりしました。しかし先月末に行った書初め教室では、お手本を見ながら、字のバランスや間隔の開け方を意識して書いている様子が見られました。授業では、一画ずつ時間をかけてお手本を見て、筆を持ったらず躊躇なく書き進めるように指導してきました。1月の書初め大会でも、一画一画を大切にしながら、思い切りのよい字を書くことができるよう支援していきます。16日からの校内書き初め展にご期待ください。

1月の予定

1	月	元日
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	冬季休業日終
8	月	成人の日
9	火	3学期始業式 給食始
10	水	身体測定①②③㉔
11	木	身体測定④⑤⑥
12	金	
13	土	土曜授業日 短歌教室⑥
14	日	
15	月	開校記念日
16	火	あいさつ運動 短縄月間始め 短縄集会(中休み) 資源ごみ学習⑤ セーフティ教室①②③④



17	水	あいさつ運動 けん玉教室① なかよし班活動(中休み)
18	木	あいさつ運動 短縄集会(中休み)
19	金	短縄集会(中休み) 社会科見学④ ものづくり㉔③
20	土	
21	日	
22	月	短縄集会(中休み) 委員会活動
23	火	避難訓練
24	水	区展鑑賞㉔③
25	木	短縄集会(中休み) ものづくり㉔③
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	クラブ活動
30	火	5時間授業 三校合同研究会
31	水	4年授業研究会(4年5時間、他学年4時間)

校内書初め展

新年の新しい気持ちをこめて、書き初めを行います。作品は以下の日程で校内に掲示いたします。(授業日のみ保護者に公開いたします。)

会期：1月16日(火)～1月22日(月)
16:00～16:30

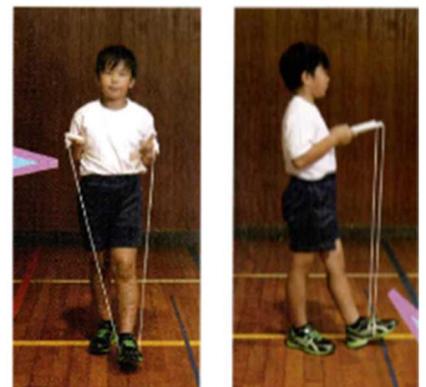
〈練馬区小中学校連合書きぞめ展〉

日時：1月27日(土)・28日(日)
10:00～18:00
(入場は17:30まで)

会場：練馬区立美術館3階企画展示室1・2
(中村橋駅下車 徒歩2分)

短縄月間、短縄集会

1月16日(火)から短縄月間が始まります。すずんで体を動かす習慣づくりをねらって行います。体育の授業や休み時間に短縄を使って運動をします。長さを調節し記名をして持たせてください。



縄を同じ高さで両手で持ったとき、胸の高さのあたりに持ち手がくるよう調節してください。長さは身長+60～65cmくらいが目安です。(上手に跳べるようになると少しずつ縄が短くなります。)余分な縄を押し込んだり、結んで調節したりすると、縄がねじれて跳びづらくなる場合があります。

余分な部分を切って調節することをおすすめします。

